

53 木祝

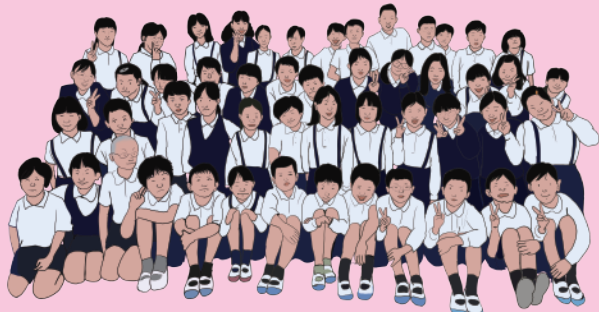
いくまさ鉄平プレゼンツ まち物語の力

10:30 ～震災の伝え方

三入小学校 子どもたちのチャレンジ

4年前の広島市を襲った豪雨災害、そこにあった物語を継承するため三入小学校の子どもたちと地域の自主防災会、いくまさ鉄平が制作した紙芝居。それができるまでのプロセスを展示し、子どもたち自らが上演を行う。

▼上演予定の紙芝居：「残そう伝えよう僕らの想い」第1部震災編、第2部ボランティア編



13:30 ～緊急招集！！まち起こし人

～いくまさ鉄平流 地域コンテンツの作り方

「まち物語を街づくりに活かせ！！」～

地方の活性化が求められる中、地域の魅力をどう掘り起こし発信するかが大きな課題となっている。いくまさ鉄平が福島の中山間地に位置する古殿町で地域住民と生み出した紙芝居制作にそのヒントがあった。福島古殿方式とよぶ地域コンテンツの活かし方を紹介する中で中国地方のまち起こし人たちが、その可能性を話し合う。

▼上演予定の紙芝居：狸の孝行話（福島県古殿町）ほか

参加者：福島県古殿町 阿久津華子氏（読み聞かせ会「あのね」）、広島県安芸太田町 林 俊一氏（奥安芸の鉄物語たたら楽校実行委員会）／島根県浜田市

山崎勇三氏（健康デザイン研究所代表、石見観光大使）／島根県益田市 内谷重信氏（益田市食育について考えよう会代表）／広島県安芸高田市 宮崎絵美氏（元安芸高田市地域おこし協力隊）／広島県広島市 いくまさ鉄平（一般社団法人まち物語制作委員会、ASHIFA-JAPAN 会員）

展示

- ・鉄平紙芝居メイキング展、鉄平アニメーション上映
- ・まちおこし活動紹介パネル展示
- ・広島国際アニメーションフェスティバル紹介展示

54 金祝

いくまさ鉄平紙芝居一挙上演

第1部 (10:30 ～ 11:30)

～地域の課題かいつプロジェクト

▼佐伯文化芸能振興会：怪傑ブルバットほか

高齢者を狙った特殊詐欺を防ごうと紙芝居による呼びかけを行う佐伯文化芸能振興会。同会はいくまさ鉄平と共同し新しい形の広報活動として地域課題かいつプロジェクトに取り組む。その取組を紹介すると共に紙芝居を上演する。

第2部 (11:30 ～ 12:30)

～古くて新しい物語、民話について考える

▼可部カラスの会、リカベーションプロジェクト：幕末維新期の可部南原屋の贋金造り事件、天子様の雪隠、福島桃太郎伝説等テレビやラジオがなく口伝が原則だった時代、時には娯楽として時には教育の手段として利用された民話。いくまさ鉄平が福島において100本の民話を紙芝居する中で見えてきた民話の意味について考える。



第3部 (13:30 ～ 15:00)

～元祖広島まちおこし カーブ物語

▼ひろしま紙芝居村、プロジェクトC：カーブ誕生石本秀一物語、カーブ初優勝物語、津田恒美物語ほか
今や全国的に大人気の広島東洋カーブ。そこには原爆から復興する市民の特別な思いがある。元祖まちおこしともいえるカーブ物語を紹介する中で物語の力について考える。

第4部 (15:00 ～ 16:00)

～ヒロシマと広島の人物語

▼二葉あき子歌碑建立委員会、NPO 法人加藤友三郎顕彰会：広島がヒロシマとなり広島にならんとする中、多くの偉人がまちづくりに関わってきた。そうした人々の物語を紹介する中でヒロシマについて考える。

【問い合わせ】

広島国際アニメーションフェスティバル実行委員会事務局
〒730-0812 広島市中区加古町4番17号 JMS アステールプラザ内
TEL (082)245-0245
FAX (082)504-5658



第17回広島国際アニメーションフェスティバル 2018年8月23日(木)～27日(月)

JMS アステールプラザにて 今夏開催！！